

板橋区指針

- ・子どもの学びを保障する教育環境の確保
- ・これからの社会を生き抜く力の育成
- ・地域と共に学び合う教育の推進

学校目標

- ・考える子ども
- ・やさしい子ども
- ・やりぬく子ども
- ・じょうぶな子ども

児童の実態

- ・友達と相手の思いに配慮しながら、話し合えることができる。
- ・どう表現していいか迷い、発表が苦手と感じている。
- ・既習事項を活かす言語力が弱い。

研究構想図

令和7年度 研究主題

「自発的に学びに向かう児童の育成」

～学びを自己調整できる児童を目指して～

～ 学びを深める力の育成 ～

主体的に学びに向かう態度

- ・学ぶことに興味・関心をもち、自発的に学ぶ。
- ・学習に見通しをもって粘り強く取り組む。
- ・自らの学習を振り返り、自分の学びを調整し次の学習につなげる。

将来に向かい学び続ける力

対話的な学び

- ・自分の意見を自信をもって伝えることができる。
- ・友達同士や教師、地域の人との対話から、考える手がかりをもてる。
- ・考えたことを意見交換や議論をすることで新たな気付きをもったり、自分の考えを広げたりすることができる。

自分の考えをもち、
意見を適切に表現する力

深い学び

- ・事象や対話から自らの問いを見いだす。
- ・課題を追究し、自分の考えを形成する。
- ・知識を様々な出来事に結び付けてより深く考え説明することができる。

学んだことを活かす力

目指す児童像

低学年

- ・自発的に学習に取り組む児童

中学年

- ・自発的に学習する児童
- ・自分に合った学習方法を選択できる児童
- ・学びを深められる児童

高学年

- ・学習の到達点を理解することができる児童
- ・自発的に学習することができる児童
- ・自分に合った学習方法を選択することができる児童
- ・学習を調整しながら学びを深められる児童

研究仮説

児童が基礎基本をさらに身に付け、学ぶ必然性がある課題を設定すれば、もっている知識を活用し、児童自ら発達段階に応じた学習方法を選択し、問題解決に向かうことができる児童を育成できるだろう。

自己調整学習への挑戦！

学習集団作りの工夫

学習の場の工夫

学習過程や学習活動

「学びの地図」や「学びのガイダンス」の工夫
→高5の地図を築きたい